

日本臨床検査学教育協議会

令和7年度 第2回理事会

開催日：令和7年8月4日（月）10時12分～10時56分

場 所：Zoom によるオンライン

構成員数：理事 20 名、監事 2 名

出席者数：理事19名、監事2名

出席理事：坂本秀生(理事長)、三善英知、山藤 賢、關谷暁子、高崎昭彦、小野川 傑、高木清司、
杉本恵子、大瀧博文、中前雅美、宮本 綾、石岡聡子、野島順三、石井直仁、多田達
史、吉田祥子、山口 聡、富山智香子、吉田 繁

出席監事：伊藤昭三、原田典明

欠席理事：勝田 仁

オンラインゆえ、参加者全員への音声確認、意思疎通が行えることを確認後に開始。

報 告 事 項

1) 次期カリキュラム改正等に向けた 2 回目調査経過

坂本理事長より、Googleform で回答募集中の以下の項目における経過報告があった。

- A 指定校へ統一化に関する見解
- B 生化学検査学と免疫検査学を科目として区分することに関する見解
- C 教育上必要な機械器具、標本及び模型について、削除希望物品の再調査

2) 日臨技との「災害時における支援員の派遣に関する協定」

坂本理事長より、同協定が結ばれたことにより、ボランティア臨床検査技師派遣の費用負担を明確化し、災害時に迅速に対応可能になったことの報告と説明があった。

3) 日臨技との「臨地実習指導者講習会、臨地実習施設の管理に関する協定」

坂本理事長より、これまでの協定で記載されている臨地実習指導者講習会の運営方法に加え、臨地実習施設と実習生のマッチングを支援するシステム構築が含まれた。具体的には、臨地実習実績に基づいて施設ごとの受入期間や実施可能な行為を養成校が入力してデータベース化し、それらを検索できるシステム構築も含まれたとの報告と説明があった。

4) 令和7年度 厚生労働科学研究費調査

医療国家資格の受験資格を得る各種資格養成校にて、第三者評価における課題解決に関する調査依頼を受け、臨床検査技師養成校として専門学校、短期大学、大学（指定校）、大学（科目承認校）の実施例を提出すると報告があった。

5) その他

特になし

議 案 審 議

第一号議案 永住権無い学生の調査

現時点では、永住権無い者が臨床検査技師国家試験に合格しても、臨床検査技師として働くための在留資格を申請できない。令和7年度定時総会で会員校から問い合わせのあった、本件について、現状把握のために本会加盟校を対象とし、「永住権を有さない学生に関する実態調査」に関する調査を調査研究委員会が行うことに関して審議した。その結果、賛成多数で承認され、googleformで調査を実施する。

その他

特になし

以上、予定していた報告及び審議事項を終え、Zoomでも滞りなく理事会を進行できたことを確認し、10時56分に終了した。

令和7年7月5日

代表理事(理事長) 坂本秀生